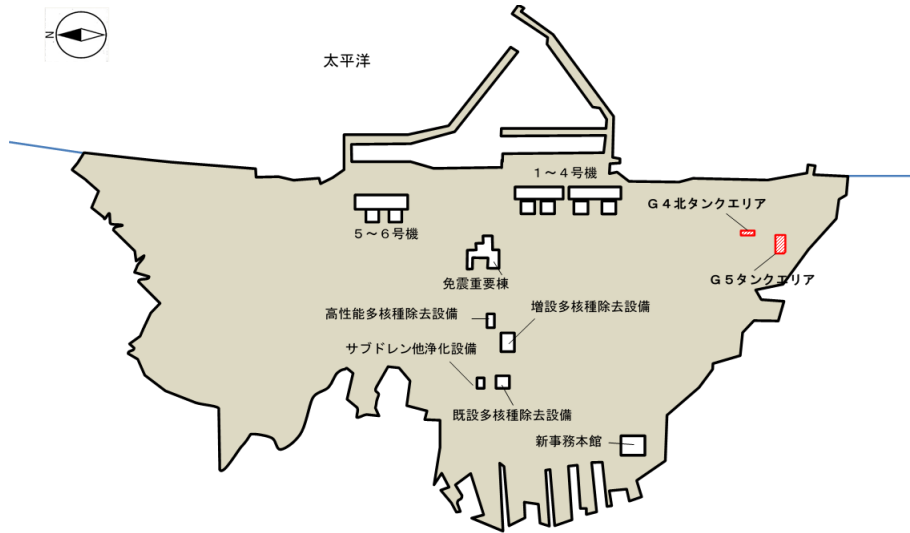


福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和4年1月21日（金）
- 2 確認箇所
G4北タンクエリア、G5タンクエリア
- 3 確認項目
G4北タンクエリア及びG5タンクエリアにおける溶接型タンク設置工事の進捗状況
- 4 確認結果の概要
 - (1) G4北タンクエリア及びG5タンクエリアにおける溶接型タンク設置工事の進捗状況について
東京電力ではALPS処理水の海洋放出にあたり、K4タンク群の用途を変更して放射能濃度の測定、評価用の設備を新たに構築することとしている。K4タンク群を用途変更することに伴う代替として、G4北タンクエリア及びG5タンクエリアにALPS処理水等を保管する溶接型タンクを設置する工事が令和3年7月から開始されていたが、同年12月に溶接作業中の作業員の熱傷災害が発生したことから一時作業が中断されていた。今月から再発防止対策が実施され作業が再開されたことから進捗状況を確認した。（図1）（前回確認：[10月29日](#)）
 - ・ 現地溶接型の容量1,356m³のタンクがG4北タンクエリアに6基、G5タンクエリアに17基、設置される計画となっている。
 - ・ G4北タンクエリアでは、6基のタンクの底板と胴板が組み立てられていた。その内3基には連結管が取り付けられていた。（写真1）
 - ・ G5タンクエリアでは9基のタンクの底板と胴板が組み立てられており、その内2基には連結管が取り付けられており、別の2基では溶接作業が行われていた。（写真2）
 - ・ 溶接作業現場の近くに消火用水や消火器が設置されていた。（写真3）
 - ・ 東京電力では昨年発生した作業員の熱傷災害を受けて、KYでの耐火服の健全性確認、耐火服の下にも耐火性のある衣類を着用すること、溶接作業前に溶接箇所をエアブロー等による清掃を実施すること等の再発防止対策を実施するとしている。今回、現場の作業員からも前述の対策を実施していることを確認した。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
G4北タンクエリアの状況
(前回(10月29日)南西側から撮影)



(写真1-2)
同左
(今回撮影)



(写真1-3)
タンク間に設置された連結管



(写真 2 - 1)
G 5 タンクエリアの状況
(前回(10月29日)南東側から撮影)



(写真 2 - 2)
同左
(今回撮影)



(写真 3)
消火用水、消火器の設置状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。